

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成22年7月23日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870300852		
法人名	池田観光開発株式会社		
事業所名	グループホーム鶴沼の里 (1)	ユニット名	B棟
所在地	〒 300-0012 土浦市神立東2丁目21-22		
自己評価作成日	平成 22年7月23日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--------------------------------------------

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

①近くに鶴沼があり、遊歩道を散歩でき、自然と触れ合うことができる。②自立支援と明るく家庭的な介護。③無農薬の吟味された食材。④自宅の延長のようなゆったりとした当り前の生活。⑤入居者様一人ひとりの状態を観察、内服薬を減らすよう主治医と連携をとりながら、進め自分らしく生活して頂く支援。⑥笑顔が輝いている笑いのある毎日を過ごして頂く支援。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自己評価 外部評価	項目	自己評価
		実施状況
<b>I 理念に基づく運営</b>		
1	1 ○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	①その人らしいあり方。②個別ケア。③地域の交流。を理念をあげ、一人ひとりを良く観察し、地域の一員として、自立したその人らしい生活を管理者、職員一同協力し合い、実践している。
2	2 ○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の理髪店に来所してカットしてもらったり、G.Sを利用したり、誕生会などは近くの食堂に歩いて行き、食事会を行うなど、イベントの際は、地域のボランティアさんに来所して頂き、交流を兼ねております。近所の方とは笑顔で挨拶をしたりしています。
3	○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	小学校・中学校からの要請で、体験学習の受け入れをしています。地域の運動会や駅伝応援参加を通して、理解や支援の方法を地域の人々に発信している。
4	3 ○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	十分生かしている。他の事業所も見ている。市の職員さんや外部の方の意見が大変役立っています。
5	4 ○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	オープンに話し合い、協力を頂いております。
6	5 ○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	家族の了承を得て、やむを得ない場合に限り行うが、入所間もない時期で、施設に慣れて頂き、出来る限り拘束はしない。見守り・優しい声かに専念、拘束をしない方法で進めている。
7	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内の虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	個別ケアの通り、その人その人の認知症状を良く理解し、防止の徹底に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	管理者が必要に応じて関係者と話し合い、活用できるよう支援している。全職員までは至っていない。
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	契約・締結・解約・改定等は、会長が細かく説明している。不安等尋ねられた事については、説明を行い納得して頂けるように対応している。
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族からの意見・要望は何でも言える接し方雰囲気作りを心がけている。運営推進会議の中で外部者へ表わせる機会を設けている。
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	月1回全体ミーティングをおこなっている。
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	本社の基準で行っている。
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	自分の休みを利用しての研修となるので、なかなか行けないことが多い。
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	地域密着型サービス連絡会の時に管理者は交流をもっているが、職員はなかなか交流を持つことができない。

自己評価 外部評価	項目	自己評価
		実施状況
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>		
15	○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	穏やかな時を見て、お話を聞くよう努めています。家族からの情報も大切な情報なので、十分聞きとっている。
16	○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	十分努めている。
17	○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の困り事を聞きとり、支援方法を見極め、全スタッフで対応に努めている。
18	○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な言い方をせず、話し合いをし、納得してもらい、本人にとって良い生活が送れるよう人間関係を築いている。
19	○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と本人の悩みを聞き、本人に対して良い方向に行くよう関係を支援している。
20	○馴染みの人や場との関係継続の支援  8 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会にきたいと家族の方から、相談を受けたりしますが、本人の馴染みの人などはいつでも面会に来て頂いたり、TELして頂いたり、して説明をしている。
21	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションを通して、日常的に会話や笑いが出るよう支援し、弱点に気付き理解し合えるよう努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	別の施設に移ったかたには、その後の状況を家族にTELしお元気の様子を確認している。

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	本人の健康や利用者全員の事を考え、把握に努めている。困難時、不穏にしないよう努めている。
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	努めている。
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	申し送り等により、一人一人の一日の接し方、変化を把握している。
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	モニタリング・アセスメントを行い、介護計画書を作成している。
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	生かしている。
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	本人や家族の状況に応じてできるだけ、柔軟なサービスに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	支援している。
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	本人や家族の希望の医療機関を利用し、かかりつけの先生との信頼関係は良好です。
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	訪問看護を受けており、相談し指導を受けています。夜間は、待機看護師さんが疑問に答えて下さったり、訪問看護して下さる。
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入退院時、共に協働して努めている。
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	終末期について、出来る事、出来ない事を家族と話し合い、十分に説明をして頂き、チームケアで取り組んでいる。
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています</p>	応急手当や急変時の対応を訓練しています。
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	避難訓練は昼夜を想定して定期的に訓練している。

自己評価 外部評価	項目	自己評価
		実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
36	14 ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を損なわないよう、優しい言葉かけで対応している。羞恥心の配慮に努めている。
37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望の表出はとても良くできています。本人の思いや希望が周りに影響を及ぼす場合に限り受け入れられない場合がある。
38	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間はスタート時、変則になり、マイペースになる方もいますが、その他は希望に添って生活している。
39	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみを整えてやりたいので、手伝ったりするが、利用者さんにとっては、不本意と感ずる人もいます。他の方は支援しています。
40	15 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	片付けや、野菜の皮むきなどできる方には手伝って頂いている。常に食べたい物を、聞き、メニューに取り入れている。
41	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量を書き込み、摂れるよう支援している。
42	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、外出時には必ず、口腔ケアをしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりに合った排泄の支援を行っている。
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ飲食物や運動で予防している。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者さんが入りたい時間に入浴できない事もあるので、楽しめるよう支援している。C型肝炎の方は最後になる。足のマッサージ等をしている。
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間良眠して頂くよう、興奮したり、しないよう、安心した気持で入眠できるよう支援する。
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は病院で処方された時、目的・副作用を理解し、服薬の症状の変化を観察する。
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や本人との会話の中から、喜びや出来ることを、見出し、気分転換できるよう、支援している。
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者が、外出したい時に、時間がゆるす限り、出かけられるよう、支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	お金を所持出来る方と、どこにしまったか忘れてしまい、捕られたの妄想を起こす人もいるので、トラブルの原因にならないよう支援している。
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	希望に応じて電話、手紙のやりとりの支援をしています。
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居心地良く過ごせるよう、毎月、季節に合った飾り付け、室温や、湿度に気をつけ、又、席なども状態に合わせて対応し、気持ち良く過ごせるよう支援している。
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	支援している。
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	散らかっている状態が居心地の良いと思って生活している人もいるので、不潔にならないよう支援している。
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	工夫している。

V アウトカム項目

		1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目 : 36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目 : 49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない